

長野県知事 様

令和2年度長野県産業廃棄物3R実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物3R実践計画書を提出します。

| | | |
|---|--|--|
| 協定期間 | 令和元年度から令和3年度 | |
| 会社名 | 株式会社JAアグリエール長野 | |
| 住所 | 〒399-8212 安曇野市堀金三田3360-3 | |
| 代表者名 | 代表取締役社長 石合 雅志 | 印 |
| 許可番号 | 2008054108 | |
| 積替保管施設 所在地 (施設を有する場合のみ、複数あ る場合はそれぞれ記入) | 施設名 | 所在地 |
| | | |
| 担当部署 | 物流事業部 | |
| 担当者名 | 内山 麻由香 | |
| 連絡先 | TEL | 026-292-8000 |
| | FAX | 026-293-0909 |
| | 電子メールアドレス | uchiyama-mayuka@ay.nn.zennoh.or.jp |
| ホームページアドレス | http://www. agriyell. co. jp | |

1 産業廃棄物3R実践方針

- ・産業廃棄物の収集運搬業者として、排出事業者及び処分業者と連携し、長野県内農家から排出される廃棄物の適正な収集・運搬を実施する。
- ・廃棄物のリサイクル率の向上及び産業廃棄物減量化のため、各地域農協を通し農業用廃プラスチックの分別排出の徹底、指導を推進する。
- ・必要に応じ排出者が分別（塩素系、非塩素系）徹底できるよう回収現場において指導を行う。
- ・エコドライブによる自動車排出ガスの低減に努め、地球環境の保全に配慮する。

2 産業廃棄物処理責任者等

| 職 | 氏 名 | 職務内容 |
|---------|-------|---------------|
| 代表取締役社長 | 石合 雅志 | 収集運搬に関する総括責任者 |
| 物流事業部長 | 竹中 弘樹 | 収集運搬に関する総括担当者 |
| | | |

*必要に応じ管理体制組織図等を添付する。

3 産業廃棄物の種類、運搬量、運搬方法、許可車両等に関する情報公開

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・運搬車両に関しては、全ての車両を営業ナンバーとし、当社ホームページを利用して、情報の公開に努める。 ・廃棄物の運搬量や運搬方法及び運搬車両については、問い合わせに対し、公開する。 |
|---|

4 積替保管施設の地域への公開（積替保管施設を有する場合のみ）

| 施設の名称 | 公開計画の有無 | 公開計画の概要又は公開計画無しの理由 |
|-------|---------|--------------------|
| | 有・無 | |
| | 有・無 | |

5 従業員教育（研修）計画

| 項 目 | 教育（研修）計画内容 |
|------------------|--|
| 社員講習会及び各種講習会への参加 | 産業廃棄物処理に関する勉強会・各種講習会へ積極的に参加し、コンプライアンス及び環境保全等の意識の向上を図る。 |
| 運転講習会 | 環境保全のための運転方法等についての講習会を行い、地球環境負荷の低減を図る。 |
| 処理工場視察 | 処理工場への見学会を検討し、処分先状況、処理方法について理解を深める。 |

6 排出事業者、処分業者への協力要請

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・排出者（JA・農家）を対象に、排出した廃棄物の持込先処理場の視察を希望により行える旨を周知する。 ・排出者にリサイクル率を向上させるために適正な分別排出（非塩素系・塩素系等）を徹底するよう指導に努める（回収現場指導の実施）。 ・情報提供を行い、排出抑制及びリサイクルに対しての意識の向上を働きかける。 |
|---|

7 不法投棄・不適正処理を発見した場合における協力体制

- ・全社員に不適正処理に対する注意を喚起させ、不法投棄など不適正処理と思われる廃棄物を発見した場合には、直ちに関係機関に連絡する。
- ・詳細については記録をとり、情報提供を行う。

8 自社処理廃棄物の管理方法

- ・自社処理の廃棄物はなし。

9 その他協定の目的達成のため、独自に取り組む事項（例：運行管理など）

- ・環境認証制度※の取得、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等を含む。
- ・運行管理者の指導により運行管理計画を策定し、効率的な配車を行い、適正な輸送と安全輸送の確保を図る。
- ・運搬車両について、車内の清掃美化に努める。
- ・排出業者（JA・農家）には農業用廃プラスチックなどの荷姿改善及び排出抑制を継続的に指導し、積載率を向上させることで効率的な運行に努める。
- ・排出業者に分別排出の啓蒙を継続的に行い、リサイクル率の向上を心がける。
- ・環境整備運動の一環として、会社構内及び近隣の草刈り、側溝の清掃を行う。

※環境 ISO 14001、エコアクション 21 等